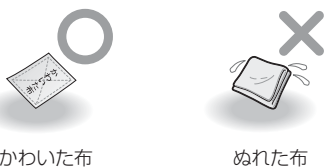
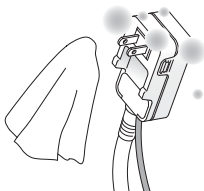


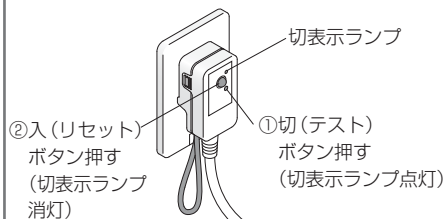
電源プラグ (目安：月に1回)



1 電源プラグを抜き、かわいた布でふく

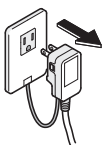


2 電源プラグを差し込み、点検する



警告

- 電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く
- プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ本体を持つ
- コードを引っ張ると、プラグやコードが傷みます。



警告

- ！ お手入れや点検のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く (感電や誤作動による故障の原因)

お手入れの際は安全のため電源プラグを抜いてください。※1

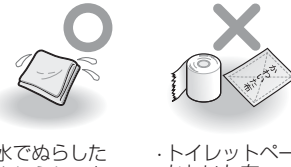


プラスチック部品には、かわいた布やトイレトペーパーを使わないでください。(傷つきの原因)



※1 「ノズルそうじ」使用時は除く

ウォシュレット本体 (ふだん)



1 電源プラグを抜き、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく

- 汚れがひどいときは
- ・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、水ぶきする



2 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

お願い

- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入ったり、洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないよう、気をつけてください。(プラスチックを傷めたり、故障の原因)
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
 - ・ 便器に残った洗剤はふき取ってください。(洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内部に入ることによる、故障の原因)
- ノズルまわりにあるカバーは、無理な力で押し引きしたり引っ張ったりしないでください。(破損や故障の原因)
- 便座裏面や便座クッションなども、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。(汚れ付着などによる変色の原因)

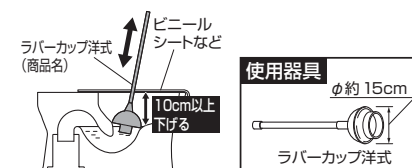
便器 (ふだん)



1 電源プラグを抜き、トイレ用ブラシなどでお手入れする

■ 便器が詰まったときは

- ・市販の詰まり除去用の器具 (商品名：ラバーカップ洋式など) を使う
- ・水位が便器の上面近くまである場合は、手動ポンプなどを使用し便器上面より10cm以上下げる (ラバーカップ洋式など使用時に汚水があふれて室内浸水の原因)



■ 床が汚れたときは

- ・よくしぼったぞうきんでふき取る (床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれ)
- ・立って小用したときの跳ね返りは座ってすることで軽減できます。

2 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

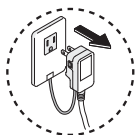
お願い

- ウォシュレット本体や、ウォシュレット本体と便器のすき間に、水がかからないよう気をつけてください。(室内浸水の原因)
- 撥水性や防汚性のある洗剤・表面コート剤などは使用しないでください。陶器表面を傷めることはありませんが、洗剤やコート剤の成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚効果が十分発揮できなくなります。

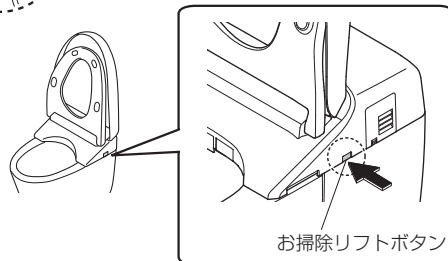
ウォシュレット本体と便器のすき間 (目安: 月に1回)

ウォシュレット本体をお掃除リフトボタンで持ち上げて、便器とのすき間をお手入れできます。

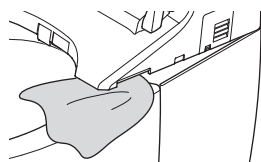
1 電源プラグを抜き、便座・便ふたを開ける



2 お掃除リフトボタンを押す ・ウォシュレット本体の前側が上がる



3 すき間のお手入れをする ・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、洗剤が残らないよう水ぶきする



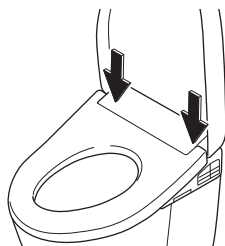
⚠ 注意

- お掃除リフトでウォシュレット本体が上がった状態で使用しない
- お掃除リフトでウォシュレット本体を下げるときは、本体と便器のすき間に指を入れない

お願い

- 直接スプレー式洗剤や水をかけないでください。
- ウォシュレット本体を上げたまま、便座・便ふたを無理に動かさないでください。

4 便座を閉じて、ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでしっかり押し下げる



5 電源プラグを差し込む ・「運転」ランプが点灯する

ウォシュレット本体と便ふたのすき間 (目安: 月に1回)

便ふたを取りはずして、すみすみまでお手入れができます。



1 電源プラグを抜き、便ふたを取りはずす 便ふたを少し手前に傾ける



- ①: 左側を外側に広げ
- ②: ヒンジ部を凸部からはずし引き上げる
- ③: 右側をはずす

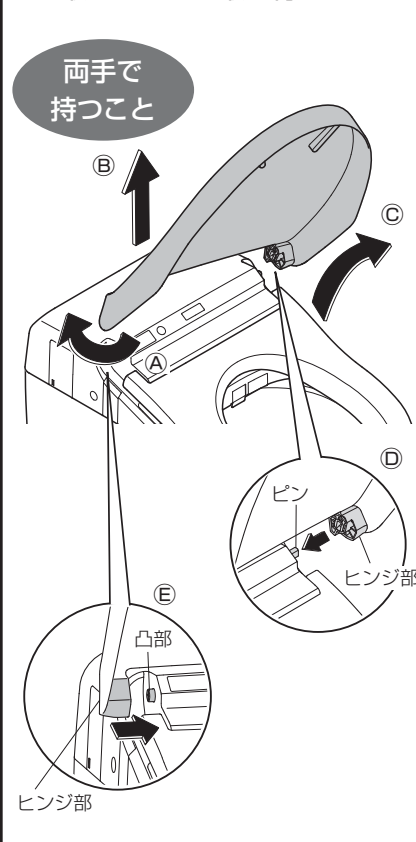
2 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく

3 便ふたを取り付ける

- ①: 右側のピンとヒンジ部を合わせる
便ふたを少し手前に傾ける
- ②: 左側を外側に広げながら
- ③: ヒンジ部を凸部に合わせ取り付け
※指をはさまないように注意してください。

4 電源プラグを差し込み、便ふたを開閉して取り付けを確認する ・「運転」ランプが点灯する

取りはずし / 取り付けかた



ノズル (目安: 月に1回)

<汚れが気になるとき (ノズルそうじ)>



やわらかい布



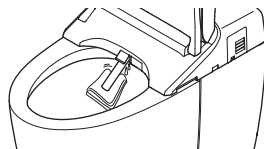
トイレットペーパーなど
(傷つきの原因)

1 ノズルそうじ 入切 を押す

- ・ノズルが出て掃除のための水が出る
- ・約5分後に自動で戻る

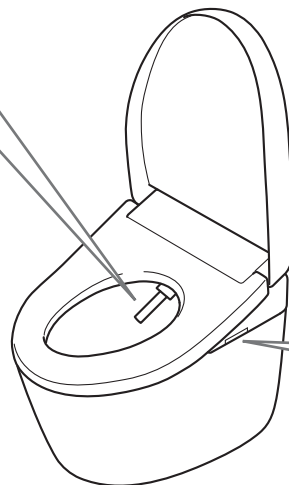
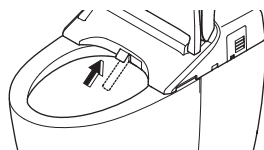
2 やわらかい布で水ぶきする

- ・ノズルを無理に引っ張ったり、押し込んだり、押さえつけたりしない
(故障や破損の原因)



3 ノズルそうじ 入切 を押す

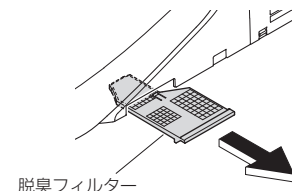
- ・ノズルが戻る



脱臭フィルター (目安: 月に1回)

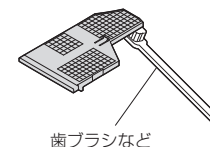
1 電源プラグを抜き、脱臭フィルターを取りはずす

- ・つまみを持って、外側に引き出す
- ・無理に引っ張らない
(破損や故障の原因)



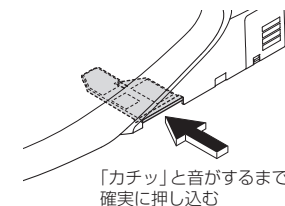
2 歯ブラシなどで掃除をする

- ・水洗い時は、取り付け前に水気を取る
- ・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。
(購入はP.56)



3 脱臭フィルターを取り付け、電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する



「カチッ」と音がするまで
確実に押し込む

給水フィルター付 水抜栓 (目安：半年に1回)
 <水勢が弱くなったと思ったとき>

1 止水栓を閉める (P.4)

・給水が止まる

⚠ 注意



止水栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
 (水が噴き出す原因)

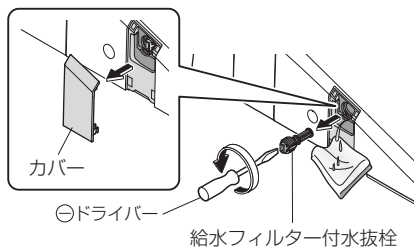
2 ノズルきれいを ☐ を押す

(給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

4 カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る

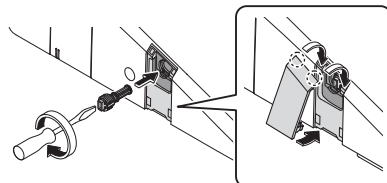


5 歯ブラシなどで掃除をする

・給水フィルター付水抜栓取付穴のゴミも取り除く
 ・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入はP.56)

6 給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

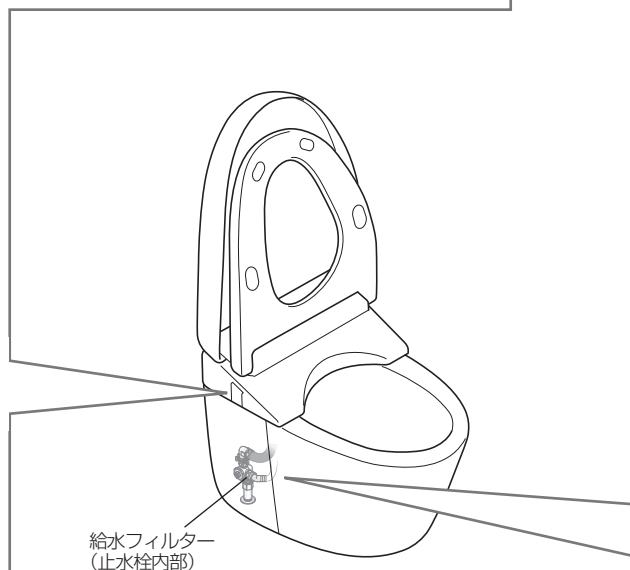
・給水フィルター付水抜栓を押し込み、
 ⊕ドライバーで確実に締める



7 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する

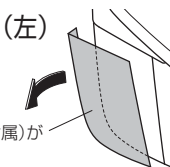
8 止水栓を開ける (P.13)



給水フィルター(便器) (目安：半年に1回)

1 すっきりパネル(左)を取りはずす

裏面に、開閉工具(付属)があります。



2 止水栓を閉める (P.4)

・給水が止まる

⚠ 注意



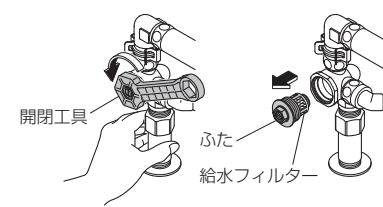
止水栓を開けたまま、給水フィルターを取りはずさない
 (水が噴き出す原因)

3 ノズルきれいを ☐ を押す

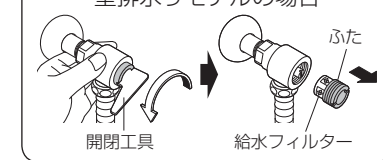
(給水管の圧抜き)

4 電源プラグを抜き、給水フィルターのふたを開けて給水フィルターを取り出す

・開閉工具(付属)を使用する



壁排水リモデルの場合

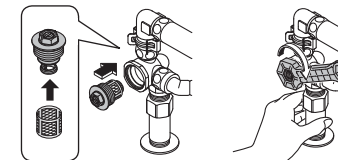


5 給水フィルターをふたから取りはずし、歯ブラシなどで掃除する

・洗剤は使わない
 ・給水フィルターに無理な力を加えない(変形の原因)
 ・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入はP.56)



6 給水フィルターをふたに取り付けたあと、ふたを開閉工具で締め付ける



壁排水リモデルの場合

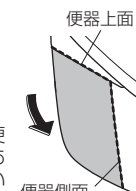


7 止水栓を開ける (P.13)

・止水栓と配管接続部から水漏れがないか確認する

8 開閉工具をもとに戻してすっきりパネルを取り付ける

・すっきりパネルは、便器上面と便器側面にあわせて、すき間がないように取り付ける



9 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する